

砂浜で熱くボール追う

市内外44チーム参加

第17回たまの渋川ビーチサッカー9月大会



砂浜で熱戦を展開する選手たち

(市サッカー協会主催、4日、渋川海岸で開かれた。山陽新聞社共催)が3、残暑厳しい砂浜

で、市内外44チーム約500人が熱戦を繰り広げた。

幼児対象のキッズ、小学生のジュニアの部を行った3日に続き、4日は中学生以上のエンジョイ、男女混合のミックス、女性限定のレディースの3部門で

出場した選手たちはリブルや息の合ったパス回しでゴールを狙つた。

エンジョイの部に出場した玉野高1年大西夢真さん(16)は「普通

のサッカーに比べて人の数が少ないこともあります。ビーチサッカーならではの動きが必要で難しかったけど、試合は楽しかった」と話した。(多田和代)

ボールが埋もれたり、足をとられたりする砂浜のピッチをものともせず躍動感あふれるプ

争つた。

出場した選手たちは

レードを開いて、巧みなドリブルや息の合ったパス回しでゴールを狙つた。

4日は中学生以上のエンジョイ、男女混合のミックス、女性限定のレディースの3部門で

出場した選手たちは

砂浜で熱戦を展開する選手たち

(C) 山陽新聞社 無断複製・転載を禁じます。